

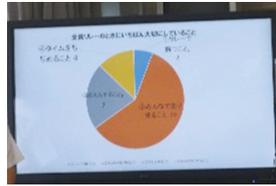
3 ICTで道徳科の授業改善

道徳科の学習は、他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的・多角的に考え、異なる意見や教材の中の様々な生き方に出会いながら、自分の考え方や感じ方を見つめ直し、自分の生き方について考えます。このような学びを充実させるために、ICTを効果的に活用することができます。



つかむ

学習課題や教材の内容への興味や関心を高めるために、絵・写真・動画などを電子黒板で提示する例。



ねらいに関するアンケートを提示する



道徳的価値に関心を持たせる



教材の内容に関心を持たせる



考える・話し合う

話し合いに必然性を持たせ、他者と対話したり協働したりしながら、多面的・多角的に考えるために、ICTを活用する例。



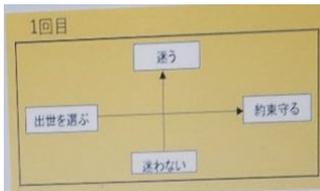
電子紙芝居で教材を提示する



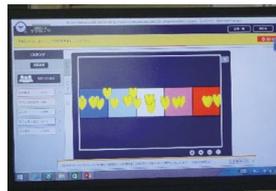
教材のあらすじを提示する

葛藤する場面

自分の考えの理由を話し合ったり、自分とは違う考えの理由を尋ねたりして、多様な考えがあることに気付かせる手立てにする。



座標軸や気持ちメーターで自分の考えを視覚化する



クラスで集約したものをもとに話し合う



集約を2回行い話し合う

焦点化して話し合う場面

多様な考えの中から、意図的に注目させたい考えを焦点化し、深い学びにつなぐことができるようにする。



自分のワークシートを送信する



意図的なワークシートを選ぶ



ねらいに迫るために焦点化して話し合う

全体交流の場面



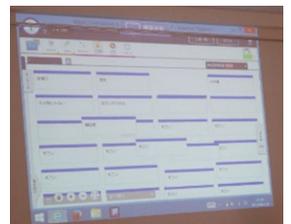
考えを3色に分類し、視覚化する。交流の際に考えが変わったら変える



付箋を使ったグループの話し合いの記録を送信し、全体交流で活用する



個々の考えをタブレットPCに入力しコメント機能を使って交流する



意図的に指名し、深く考えさせたい内容を取り上げ話し合う



見つめる・振り返る

学習課題に基づき、学びを自覚できるようにするための指導の活用例。



全体交流後、学習を振り返る



ねらいに迫る児童の考えを提示する



体験を想起する画像を提示する